

0-3 アラプリーズ Arapiles

アラプリーズはシドニー周辺や近くのグランピアンズとは違い、何も無い平原の中にある。高さこそないが 10 数キロ先のハイウエーからその姿を確認することができる。ここにはトラディショナルなルートを含めると 1500 本以上のルートがある。岩質は砂岩だがシドニー周辺や他の世界各地にある砂岩の岩場に比べるとこれが砂岩なの？と言うほど堅い。その為ナチュラルプロテクションもばっちり効かせる事ができる。そういった理由からか、この地ではどうしてもプロテクションが取れない所だけボルトが打ってあり、その他は基本的には自分でプロテクションをセットして登るルートが多い。また、岩場の基部には大きなボルダーも転がっていて多くのボルダラーが集まっている。岩場の下にはすぐキャンプ場がありまさにクライミングのみに専念できる。シーズン中には現在でも多くのクライマーが世界中から集まってくると聞く。私が訪れたのは 1992 年であらゆるイギリスからモファットとショーンマイルズが来ていて、何度か同じエリアで顔をあわせた。この文章もかなり古いので現地の情報は大きく変わっていると思われる。また、グランピアンズも 1 時間半のドライブで行くことができるので両方を組み合わせて行くと良い。

2009 年時点でも岩場に関する内容におおきな違いはなかった。(内藤追記)

岩質 砂岩

ルート

岩場は 3 キロ四方に渡って点在している。ルートは無限にあるがほとんど初登以後登られていないようなルートも多く、チョークのついているルートをお勧めする。私が行った 2009 年の時点ではキャロットハンガーはほとんど

使用しなかった。終了点もケミカルに打ちかえられていた。ただボルトは増えている様子はなく、あくまで打ち変え。ナチュラルプロテクションは必携、そして確実に行えるようにしておくこと。特に普段日本では使うことのない R/P がばっちり効く。また終了点を自分でセットしなければならぬルートも多いので注意が必要。最近ではフェースのルートも多くつくられているが、だいたいカチホールドに耐えて引き付けて登るルートか、フェースとクラックのミックスされたようなルートが多い。一言で言うならばまさに大人の岩場といった感じである。

宿泊

岩場の下がキャンプ場になっている。現在は 1 人 2 ドル必要とのこと。モーターやキャラバンパークは 30 キロ離れたホーシャムにある。

シーズン

10 月から 4 月位。暑い日でも日陰のエリアもあるので上手く組み合わせれば充実したクライミングが行える。

ショッピング

一番近い村は 10 キロほど離れたナチマックでこのミルクバーはクライマー御用達。またちょっとしたクライミングギアを売っている店もある。一番大きな街は 30 キロ離れたホーシャムで日用品はここで手に入る。トポは (ARAPILES SELECTED CLIMBS) が 2008 年に新しく発売されていて、昔のに比べれば、これ以上ないという出来栄のものが発売されている。写真もふんだんに使われていて、これがあれば迷わず素晴らしいルートに取り付ける。この中にはボルダリングガイドも記されている。ホーシャムのアウトドア用品店かナチマックのクライミングショップで手に入る。

アプローチ

ここでは MELBOURNE からを紹介する。ウエスタンハイウエー 8 号を西に 300 キロほど走った所に HORSHAM の街がある。すぐ手前にはグランピアンズがある。ホーシャムからは NATIMUK の村を経てすぐで ARAPILES に着く。メルボルンからは約 4 時間ほど。途中オービスやネズミ捕りをやっているの注意すること。



92 年 3 月 木村伸介

2009 年 内藤直也